



新庁舎建設 現場レポート①

新庁舎建設工事の着工から、4か月余りが経過しました。今回は、現場レポート第1弾として、これまでの工事の進捗よく状況について報告します。

■工事仮囲い (平成30年5月)

工事の着手に先立ち、建設現場の周囲に、高さ3m以上の安全仮囲いを設置しました。

仮囲いは、防音タイプを採用しており、周囲への安全確保とともに、工事騒音の低減などに効果があります。

また、この仮囲いには、新庁舎の完成パースや岐阜市の観光写真を掲示するとともに、壁面緑化を設置するなど、新庁舎や市のイメージアップに努めています。



■掘削工事 (平成30年5月～9月)

建物の基礎を施工するための掘削を行いました。

今夏は、猛暑や大雨といった厳しい気象状況にありましたが、バックホウと呼ばれる建設重機を複数台使用し、約34,000㎡(25mプール約100面に相当)の土を掘削しました。

■基礎工事 (平成30年8月～継続中)

掘削が完了した部分から、基礎工事を開始しています。建物の基礎は、縁の下の力持ちともいえる、建物を支える非常に重要な部分であり、精度の高い施工に努めています。



■井戸工事 (平成30年5月～8月)

新庁舎は、本市の特色である豊富で良質な地下水を、空調システムやトイレの洗浄水、屋外散水などに活用し、環境負荷の低減に努める計画としています。

地下水を汲み上げるため、建物の周囲に、深さ30mの井戸を4本設置しました。

■工事用クレーン

現在、工事資材の吊り上げや移動作業を、クローラークレーンと呼ばれる大きな自走式クレーン1台によって行っています。今後、最大高さが約90mとなるタワークレーンを1台、クローラークレーンをもう1台追加設置し、計3台のクレーンで施工していきます。

事業への市民参画として、施工者である大日本JVにより、この3台のクレーンの愛称を、地元の岐阜小学校の児童の皆さんから募集しました。愛称には、本市に暮らすすべての人々、とりわけ、未来を担う子ども達の「願い」を、お互いが「支え合い」「助け合う」ことで叶えていくというメッセージが込められています。

クレーンの種類	愛称	考案者
タワークレーン	願い	小学6年生女子
クローラークレーン(1台目)	ささえーる	小学6年生男子
クローラークレーン(2台目)	たすけーる	



今後も、2021年の開庁を目指し、着実に工事を進めていきます。 問 新庁舎建設課 ☎ 214 - 6558